

会津若松市優良建設工事表彰

令和7年度に完成した市が発注した工事のうち、優れた建設工事に対し令和8年7月9日に會津稽古堂にて表彰式が行われました。
表彰を受けた公共工事は次のとおりになります。



【道路部門】 (敬称省略)

工 事 名	林業専用道舟子峠線開設工事
受 賞 者	有限会社 飯豊産業 代表取締役 齊藤 勝模 様
現 場 代 理 人	安部 潤也 様
工 事 写 真	
寸 評	本工事は、大戸町の舟子地区における森林整備や木材の搬出を目的とした林業専用道を整備する事業として、開設工事を延長$l=103.9\text{m}$、及び舗装工事を延長$l=509.7\text{m}$行ったものです。 急傾斜地での開設工事であり、切土法面の浸食や崩壊の危険性がある中での施工でありましたが、地山掘削作業主任者の指揮のもと、仕上り状況を精査するなど安全面に配慮し、事故なく円滑に工事を進めることが出来ました。 さらに、写真管理においては、ドローンを使用して現場状況の記録を行うなど、受注者の提案による管理も行われました。 施工については、品質・出来形ともに良好であり、出来栄を含めて優秀でありました。

【河川・治山・治水部門】

工 事 名	治水対策事業 蟹川堀川水路整備工事
受 賞 者	総合緑建 株式会社 代表取締役 皆川 勝治 様
現 場 代 理 人	鈴木 茂典 様
工 事 写 真	
寸 評	本工事は、市街地を流れる普通河川蟹川堀川の通水能力向上と浸水被害軽減を図るため、幅3.0m、高さ1.5mのU形水路を延長154.5m布設し、整備を行ったものです。 現場は、商業施設や住宅に挟まれており、使用機械や作業スペースの制限が厳しい施工条件でありましたが、周辺の施設や住民を意識した柔軟な対応と適切な安全管理により、苦情もなく円滑に施工されました。 さらに、受注者の提案により、クローバーの種子を散布し、グランドカバーの育成と除草作業の負担低減を図る地域貢献の取組も行われました。 施工については、品質・出来形ともに良好であり、出来栄を含めて優秀でありました。

【公園部門】

工 事 名	つるかめ公園遊具更新工事
受 賞 者	総合緑建 株式会社 代表取締役 皆川 勝治 様
現 場 代 理 人	渡部 一弥 様
工 事 写 真	
寸 評	本工事は、つるかめ公園において、老朽化した遊具から新しい遊具へ更新を行ったものです。 現場は、住宅に囲まれており、町内会館が併設されているため、日常的に利用者が多い公園ですが、適切な保安施設の設置により工事現場と利用スペースとを分離する措置を確実に実施し、苦情や事故等もなく円滑に施工されました。 さらに、地元町内会と共同でボランティア清掃をするなど、地域へ貢献する取組も行われました。 施工については、品質・出来形ともに良好であり、出来栄を含めて優秀でありました。

【 下水道施設部門 】

工 事 名	公共下水道管理設工事(南四合雨水幹線)第1工区
受 賞 者	田中建設工業 株式会社 代表取締役 田中 誠二郎 様
現 場 代 理 人	高橋 浩 様
工 事 写 真	
寸 評	本工事は、神指町大字南四合地内に雨水幹線を整備する事業として、市道部に幅3.5m・高さ1.5mのボックスカルバートを延長L=48.1m埋設したものです。 現場は、事業所が隣接していることに加え、交通量の多い箇所であり、掘削に伴う出入口確保や交通規制など、厳しい施工条件下での工事となりましたが、安全管理・工程管理に十分配慮し、地域への影響を最小限に抑え施工されました。 さらに、隣接している事業所と綿密な調整を行い、一時的に仮設の進入路を設置するなどスムーズな工事進捗を図りました。 施工については、品質・出来形ともに良好であり、出来栄を含めて優秀でありました。

【水道施設部門】

工 事 名	重要給水施設配水管整備事業 花春町外配水管布設替工事
受 賞 者	会津ガス 株式会社 代表取締役社長 相馬 寛司 様
現 場 代 理 人	稲村 勇樹 様
工 事 写 真	
寸 評	本工事は、重要給水施設配水管整備事業として、花春町地内（市道若3-358号線）に埋設されている配水管φ150mmを耐震性のあるダクタイル鋳鉄管へ延長194.5m布設替を行ったものです。 施工は、小規模管路DB対象工事としたことにより、受注者のノウハウを活用し管路の詳細設計が行われ、効率的に施工が行われました。また、IoTによる水道施設情報システムを活用し、スマートフォンと連携した測定機器を使用することで高い精度で、品質管理を行うことができ、効率的かつ高い工事品質で施工されました。 さらに、工事施工に関する分かりやすい説明看板を現地に掲示するなど、周辺住民の住環境への配慮も行われました。 施工については、品質・出来形ともに良好であり、出来栄を含めて優秀でありました。

【建築部門】

工 事 名	城前団地更新住宅第5棟新築工事
受 賞 者	会津土建 株式会社 代表取締役社長 菅家 忠洋 様
現 場 代 理 人	三星 和敬 様
工 事 写 真	
寸 評	本工事は、城前団地建替事業の第6期工事として、共同住宅24戸及び自転車置場、駐車場等の整備を行ったものであり、関連工事との工程調整を積極的に実施するなど、円滑に工事が行われました。 また、仮囲いに地元高校生が作成した卒業制作をパネルにして展示し、周辺環境のイメージアップに努めたほか、積雪時の除雪を行い、歩行者等の安全を確保しながら施工されました。 さらに、道路清掃等の地域活動への積極的な参加や、騒音や振動への対策を徹底するなど、周辺住民の住環境に配慮しながら工事を進められました。 施工については、品質・出来形ともに良好であり、出来栄を含めて優秀でありました。

【電気設備部門】

工 事 名	城前団地更新住宅第5棟電気設備工事
受 賞 者	株式会社 目黒工業商会 代表取締役社長 目黒 健之 様
現 場 代 理 人	千葉 政司 様
工 事 写 真	
寸 評	本工事は、城前団地更新住宅第5棟の新築工事に伴い、電気・情報設備の整備を行ったものです。 関連する工事との積極的な工程調整を実施したことにより、円滑に工事を進められました。 また、受注者からの提案により、居住者の視点に立った操作性を考慮した器具を選定し施工されました。 さらに、3D-CADを用いて配管・配線ルートを入念に検討するなど、受注者によるきめ細かな創意工夫が発揮されていました。 施工については、品質・出来形ともに良好であり、出来栄を含めて優秀でありました。

【機械設備部門】

工 事 名	城前団地更新住宅第5棟給排水衛生設備工事
受 賞 者	東邦工業 株式会社 代表取締役 成瀬 亨 様
現 場 代 理 人	佐藤 裕太 様
工 事 写 真	
寸 評	本工事は、城前団地更新住宅第5棟の新築工事に伴い、給排水衛生設備の整備を行ったものです。 関連する工事と積極的な工程調整を実施したことにより、円滑に工事が進められました。 また、建築躯体に関わる施工では、建築・設備双方の品質を確保するために、細部にわたる数値管理を行いながら工事を進めていました。 さらに、埋設給水管の建物貫通箇所を使用した配管の腐食対策を受注者の提案で行うなど、きめ細かな創意工夫が発揮されていました。 施工については、品質・出来形ともに良好であり、出来栄を含めて優秀でありました。

【庁舎整備特別枠 建築部門】

工 事 名	会津若松市庁舎整備建築工事
受 賞 者	戸田・共立・弓田 特定建設工事共同企業体 株式会社 共立土建 代表取締役 三瓶 貴裕 様 株式会社 弓田建設 代表取締役 大石 隆徳 様
現 場 代 理 人	—
工 事 写 真	
寸 評	本工事は、本庁舎の耐震性や老朽化、分庁舎への行政機能の分散などの課題を解決するため、本庁舎旧館を保存・活用しつつ、情報や防災、市民サービスの拠点となる新庁舎の整備を行ったものです。 本庁舎旧館の免震レトロフィットの施工では、狭い地下空間での掘削や基礎築造に加え、施工時の地震対策、ジャッキアップ時の制御管理など、高度な施工技術や管理が求められる工事を高い施工精度で施工されました。 さらに、地元の建設業関係者や技術系の大学・高校の学生を対象とした現場見学会を複数回開催し、地元企業の施工技術の向上と人材育成に取り組みました。 施工については、品質・出来形ともに優良であり、出来栄を含めて優秀でありました。

【庁舎整備特別枠 電気設備部門】

工 事 名	会津若松市庁舎整備電気設備工事
受 賞 者	目黒・萩生田 特定建設工事共同企業体 株式会社 目黒工業商会 代表取締役社長 目黒 健之 様 株式会社 萩生田電設 代表取締役 萩生田 学 様
現 場 代 理 人	逸持治 健太郎 様（株式会社 目黒工業商会）
工 事 写 真	
寸 評	本工事は、本庁舎の耐震性や老朽化、分庁舎への行政機能の分散などの課題を解決するため、本庁舎旧館を保存・活用しつつ、情報や防災、市民サービスの拠点となる新庁舎の整備を行ったものです。 施工は、複数の関連工事が錯綜し、多くの関係者との工程等の調整が必要な大規模建設工事において、全体工程を最優先に対応し、適切な調整を図りながら行われました。 さらに、道路規制との関係から、非常用発電機の屋上への楊重搬入が夜間作業となり、難易度の高い夜間での高所作業が、綿密な作業手順のもと、安全確認を徹底しながら行われました。 施工については、品質・出来形ともに優良であり、出来栄を含めて優秀でありました。

【庁舎整備特別枠 機械設備部門】

工 事 名	会津若松市庁舎整備空気調和設備工事
受 賞 者	ハッ橋設備・アクーズ会津 特定建設工事共同企業体 ハッ橋設備 株式会社 代表取締役 ハッ橋 善朗 様
現 場 代 理 人	渡部 亮 様（ハッ橋設備 株式会社）
工 事 写 真	
寸 評	本工事は、本庁舎の耐震性や老朽化、分庁舎への行政機能の分散などの課題を解決するため、本庁舎旧館を保存・活用しつつ、情報や防災、市民サービスの拠点となる新庁舎の整備を行ったものです。 施工は、複数の関連工事が錯綜し、多くの関係者との工程等の調整が必要な大規模建設工事において、全体工程を最優先に対応し、適切な調整を図りながら行われました。 さらに、空調運転時の室内騒音の課題に対して、基準値以下となるような自主目標を掲げ、目標達成のために消音設計や消音器の設置など、室内環境を向上させるための取組が行われました。 施工については、品質・出来形ともに優良であり、出来栄を含めて優秀でありました。